

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成26年05月08日

事務事業名	栃木県後期高齢者医療広域連合参画事業			担当	市民生活部 国保年金課 高齢者医療係		
政策名	C 思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285 - 83 - 8593		
施策名	5 高齢者の自立と社会参加の支援			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成20 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	高齢者の医療の確保に関する法律、栃木県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例、真岡市後期高齢者医療に関する条例						
予算科目	3.後期高齢者医療特別会計	2.後期高齢者医療広域連合納付金	1.後期高齢者医療広域連合納付金				
事業概要	平成20年4月1日から施行された後期高齢者医療制度は、保険者として県単位で設立された広域連合が事業を運営し、関係市町は保険料の徴収と、被保険者資格の異動届出受付等の窓口業務を行うとともに、被保険者から徴収した保険料と保険基盤安定制度負担金を広域連合に納付している。						

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移									
25年度実績 転入・転出・転居・死亡等の事由による被保険者資格異動届出の受付、葬祭費の申請受付及び被保険者証の再発行等の窓口事務と、広域連合にそれらに関する異動処理データの送信を行った。 また、被保険者から徴収した保険料と保険基盤安定制度に係る負担金を広域連合に納付した。		名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)		
		ア 資格等異動事務取扱件数		件	2,550	3,213	3,641	3,369	3,133		
		イ 広域連合納付金額		千円	465,557	471,670	537,146	559,497	585,266		
		ウ									
		エ									
		オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移									
栃木県後期高齢者医療広域連合 被保険者（真岡市）		名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)		
		ア 栃木県後期高齢者医療広域連合		団体	1	1	1	1	1		
		イ 被保険者数（4月1日現在）		人	8,331	8,441	8,527	8,692	8,715		
		ウ									
		エ									
		オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移									
広域連合による事務の共有化で、医療給付等の事業を効率的かつ円滑に実施する。		名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)		
		ア 被保険者一人当たり納付金額		円	55,882	55,878	62,993	64,369	66,008		
		イ									
		ウ									
		エ									
		オ									
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移									
後期高齢者医療制度が健全に運営され、被保険者が適正な医療給付を受けられる。		名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)		
		ア 適正な医療給付を受けている被保険者数									
		イ									
		ウ									
		エ									
		オ									
(2) 総事業費の推移		単位	22年度(実績)		23年度(実績)		24年度(実績)		25年度(実績)		26年度(見込)
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	103,731	104,977	117,360	118,633	0	0	0	0
		一般財源	千円	361,826	366,693	419,786	440,864	0	0	0	0
	事業費計（A）		千円	465,557	471,670	537,146	559,497	0	0	0	0
人 件 費	人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	0	0
		延べ業務時間	時間	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	0	0
		人件費計（B）	千円	4,609	4,581	4,538	4,389	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	470,166	476,251	541,684	563,886	0	0	0	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか。		平成20年4月1日から後期高齢者医療制度がスタートした。 法に基づき、栃木県後期高齢者医療広域連合が設立され、医療給付等の事業が開始された。									
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		現行の後期高齢者医療制度を廃止し、新たな制度に移行するため、「社会保障制度改革推進法」（平成24年8月成立）に基づき、「社会保障制度改革国民会議」において、制度の改革、廃止等について検討が行われ、平成25年8月に後期高齢者医療制度については、現在では十分定着しており、現行制度を基本としながら、実施状況等を踏まえ、必要な改善を行うことが適当との報告がなされた。									
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？											

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者に必要な医療保険制度である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者の医療の確保に関する法律等に基づき、市が参画する広域連合が行うべき事業として実施している。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 高齢者の医療の確保に関する法律等に基づき実施している。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 高齢者の医療の確保に関する法律等に基づくものである。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 高齢者が加入する医療保険制度である。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 高齢者の医療の確保に関する法律等に定められている。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費で行っている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者の医療の確保に関する法律等に定められた事業である。

## 3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し ( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合  <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果  ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="ghost"/> 見直し余地あり    ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								